

平成19年度「留辺蘂まちづくり協議会」(第3回)会議録要旨

日時	平成19年6月20日(水)18:00~20:25
場所	留辺蘂町中央公民館 1階 小ホール室
出席者	協議会:12名(福原会長、前田副会長、大野委員、笠原委員、木村委員、坂下委員、菅波委員、千葉委員、中村委員、本條委員、松山委員、山田委員) 北見市:南川副市長〔留辺蘂自治区〕・小林教育事務所長・浦都市再生推進室次長・若杉都市再生推進室主幹 事務局:清野総合支所長・伊藤総務課長・奥原地域振興担当係長・海鉾地域振興担当

開 会

事務局 (総務課長) 開会(18:00)
ただいまから平成19年度 第3回留辺蘂まちづくり協議会を開催いたします。
それでは、福原会長よろしく願いいたします。

福原会長 お忙しい中、お集まりくださいましてありがとうございました。本日は、(1)瑞穂小中学校存続と校舎改築等の要望について、(2)〔仮称〕まちづくり条例検討市民会議について(3)温根湯温泉街再生整備計画についての報告をいただきまして、そのあと、議題として、(1)今後のまちづくり協議会の進め方について協議を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、南川副市長よりごあいさつをいただきたいと思っております。

南川副市長 お晩でございます。私からは、自治区の状況について報告をさせていただきたいと思っております。今日の会議の中で、温根湯温泉街再生整備計画と瑞穂小中学校について報告があるようですが、1つは北見市都市再生についてですが、住民説明会が終了しましたが、北見東急百貨店が撤退ということで、撤退の反対署名が5万人を超えたということでございます。また、市長が東急百貨店本社に赴いて計画の見直しを要請してきたところですが、東急本社の考えには変更がないということでございました。従いまして北見市としては、住民説明会で説明してきた考えを基本におきながら、計画の見直しに取りかかるということでございます。具体的には、これから早急に作業を進めてまいります。大きな流れとしては変わっていかないという状況でございます。残念ながら、今現在どのような方法で見直しをするのかは答えられませんが、このような状況にあるということをご承知いただきたいと思っております。もう1つは、網走管内の首長や経済団体が集まりまして、総合開発期成会という団体があるのです

が、毎年、国や関係団体に要望活動を実施しておりますが、留辺蘂自治区としては、従来からＪＲ石北本線の高速化というのが長年の課題でありまして、商工会議所と一緒に取り組んでおりますが、なかなか結果が出ていない状況であります。旭川～札幌間と石北本線とは時速で４０kmの差があると言われておりますので、何とかこれを解消したいと思っております。ＪＲとしては、路線のトンネル化を含めて大規模な事業費がかかるという話がありますが、具体的な要望をしていきたいと思っております。それから、留辺蘂高校総合学科の間口対策ですが、今年は間口の縮小は見送られました。北海道としては、全国的に生徒数が減少している状況で、学校統合も視野に入れて検討していくということですが、来年以降もしっかりと間口対策を行っていきたいと思っております。それから、全国大会が留辺蘂自治区を会場にして開催することが決定しました。来年の２００８年には、全国選抜ゲートボール大会、再来年の２００９年には、ねりんピックの弓道競技が開催されます。担当者も受け入れの準備を進めてまいります。地域の皆さんにもご協力をいただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

以上でございます。

報 告

【 会議の成立について 】

福原会長

南川副市長さん ありがとうございます。

それでは、会議に先立ちまして、委員の皆様には事務局より会議の成立について報告してください。

事務局
(総務課長)

会議開催に当たりましては、北見市自治区設置条例第 7 条第 3 項の規定によりまして、半数以上の出席が必要であります。本日、大江友広委員、澤山一之委員、久富慈順委員におかれましては、所用のため欠席する旨の連絡をいただいておりますので、正副会長を含め、委員 15 名中 12 名の出席をいただいておりますので、半数以上の出席がありますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。

福原会長

本日の出席者は 12 名で、会議は成立しておりますので、委員の皆さんよろしく願いいたします。

福原会長

本日の会議につきましては、概ね午後 8 時 00 分を目途に終了したいと考えておりますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

報 告

【 (3) 温根湯温泉街再生整備計画について 】

福原会長

それでは、次第の『2. 報告』ですが、(3)の温根湯温泉街再生整備計画についての報告を北見市より担当者が来られていますので、先にさせていただきます。

それでは、報告をお願いします。

浦 都市再生推
進室次長

皆さんお晩でございます。都市再生推進室の浦と申します。ご配慮いただきましてありがとうございます。このほど、温根湯温泉街再生整備検討委員会より提言書を頂きました。皆様のお手元に提言書がございますが、この提言書につきましては、昨年8月から合計8回の委員会が開催され、6月11日に市長へ提言書を渡しました。北見市といたしましては、提言の1つ1つについて、委員の皆様がかなり深い協議を重ねておりますので、私共も大変重たいものとして受け止めて、今後につきましては、事業化に向けての基本構想が出てきますので、さらに事業評価を行って実施計画に計上してまいります。この提言書の中にも一部載せておりますが、温根湯温泉街の2条橋周辺に新規ホテルが進出するというお話しでしたが、低迷する温根湯温泉にとっては新しい風として歓迎ムードで継続的に協議をさせていただきましたが、最後に残念ながら事業への投資の回収が厳しいということを総合的に判断された結果、今回については、白紙撤回ということにさせていただきますと連絡がございました。なお、このエリアにつきましては、民間活力の導入という基本的な考え方は変えておりませんので、委員会の検討から一旦はずしております。とは言っても、2条橋周辺につきましては、橋梁の形についても具体的には決まっておりませんので、検討委員会で再度協議してまいります。このあと、担当から提言についての内容を解説したいと思います。以上でございます。

若杉都市再生推
進室主幹

お晩でございます。都市再生推進室の若杉です。貴重なお時間を頂きましたので、約20分程度で説明させていただきたいと思いますが、提言書の概要ということで、温根湯温泉街再生整備計画策定に向けての提言ということで進めさせていただきます。

・・・若杉主幹より説明・・・

温根湯温泉街再生整備計画策定に向けての提言書

1. はじめに

1) 温根湯温泉の変遷

2) 温泉街の再生に向けたこれまでの取り組みと経過

2. 温根湯温泉の現状と課題

1) 温根湯温泉地区の現状

人口の減少

観光入り込み客数の減少

土地・建物利用

道路等都市基盤施設の整備状況

都市計画

- 2) 温根湯温泉地区の課題
3. 温泉街再生の目標と方針
 - 1) 温泉街再生の目標
 - 2) 温泉街再生の整備方針
4. 再生に向けた主要事業への提言
 - 1) 2条橋周辺整備
 - 2) 農村公園（花のエリア）の花木植栽整備
 - 3) 農村公園（花のエリア）2次拡張整備
 - 4) つつじ公園整備（トイレの水洗化）
 - 5) 1条橋延長工事とつつじ公園侵入道路（温泉通）の改良
 - 6) 山の水族館の移転改築
 - 7) 国道39号及び道の駅からの誘導
 - 8) 左岸道路～温根湯中央通～2条橋架け替え
 - 9) ソフト事業
 - 10) その他
5. 温根湯温泉街再生整備計画予定図
 - 1) 整備計画予定図
 - 2) 2条橋周辺整備計画予定図

参考資料

- 資料1 温根湯温泉街再生整備検討委員会設置要綱
資料2 温根湯温泉街再生整備検討委員会委員名簿
資料3 検討委員会の協議経過
資料4 検討委員会の協議結果報告書

質問・意見

福原会長 ありがとうございます。大変膨大な資料の説明ではありましたが、皆さんからご質問、ご意見等、ございませんか。

笠原委員 資料5ページ中段の「表3 旧留辺蘂町観光入込客数と宿泊客数の推移」についてですが、平成13年から横ばいになっておりますが、既存ホテルの稼働率はどうなっているのでしょうか。

若杉都市再生推 この提言書の中では、稼働率についての資料はございません。

進室主幹

笠原委員 武華ホテル、花水荘がなくなった分が減少しているということでしょうか。客室が少ないのであれば、入込客数が少なくなっても不思議ではないです。

若杉都市再生推 多分ですけれど、武華ホテル、花水荘が減ったのが原因と思いますが、稼働率については問題がないと思います。

進室主幹

笠原委員 そうであれば、ホテルの数を増やすか、客室を増やさないと対策にならないと思うのですが。山の水族館や果夢林の館の入込数であれば理解できるのですが。

福原会長 宿泊客数の問題ですが、副市長お答えいただけますか。

南川副市長 1年間を通じて言えば、閑散としている時期が半月単位であるのですが、そこを埋めていくというのが必要であります。北海道観光全体の中で動いているものですから、なかなかここは難しい問題であります。ただ、ホテルとしては、お客様の入込が増えてくれば、当然、設備投資も含めて、宿命ですからやっっていくこともありますし、誘致も可能性があるとすれば引き続き行っていきたくと、北見市としては考えています。

笠原委員 それでは、悪循環サイクルの対策を考えたとき、どこでこの循環を断ち切るのか。客室を増やすとか、こちら温泉にも入れますとか、それとも、何か手立てがあるのですか。

若杉都市再生推進室主幹 どの温泉地もそうでしたが、大型ホテルや大手の旅館では、ホテル内完結型の宿泊でした。その結果、温泉街が無くなってしまいました。そこで初めて気づき、阿寒などの温泉街は再生に向けて行動をしています。全部ホテル内に抱え込んでいたものを、全て外に出していく努力をしています。現在、温根湯温泉でも、宿泊客を外に出そうとしています。今までは、ホテルで抱え込んでいたのですが、でも、いまの温泉街では、外に出してもお店の数が少なく真っ暗になっているのが現状です。自分達で悪循環を作ってしまったのですが、それでも、ホテルは資本を投入し、温泉街を再生させたいという意向はあります。

笠原委員 それは、地域の再生ということにもなりますね。

若杉都市再生推進室主幹 そのとおりです。これは定山溪の例ですが、ホテル全体の収支は何百億とあるのですが、決して儲かってはいない。小さい温泉街のほうが儲かっています。

笠原委員 道の駅は北見市唯一の施設です。これについても、もう少し活用を考えないと。また、高速バスで来た人が荷物を引きずってホテルに行くのでは、もう二度と温根湯温泉に来てもらえません。もっと極め細やかな対策が必要と思うのですが。

福原会長 それにつきましては、今後の話し合いになります。

福原会長 他の委員から何かございませんか。

福原会長 それでは、私も検討委員の一員で、質問をすることがおかしいのですが、させていただきます。さきほど、浦次長から、この提言書を重く受け止めるというお話がありましたが、河川改修の関係で、この提言書に記載されている事業で、取り掛かれるものはどの事業でいつ頃になるのでしょうか。

浦 都市再生推 提言書の19ページに計画予定図があるのですが、これは決まったものではありません。イメージ図であります。河川改修については、これから北海道と留辺蘂総合支所が窓口になり協議を重ねていきますが、どの年度にどの事業を実施するのかは、河川改修の方法が決まった時点で事業を実施していくこととなります。事業を実施するときにはまちづくり協議会で事業についてご審議をいただきまして、その結果、実施計画に掲載し、財政的に措置されなければなりません。いずれにしても、次年度から着手できるものは実施していきたいと思えます。

福原会長 他に何かありませんか。

松山委員 提言書の14ページ下段の「整備方針3 滞在滞留し体験できる観光地づくり」についてですが、滞在滞留型・体験型観光に向けて観光施設への誘導を図るとなっていますが、環境に配慮したような手段を考えられたいと思います。既に、いろんなところで実施しているのですが、自転車で観光ルートを回るとか、馬車を使うなどしております。自動車の乗り入れをどこまで規制できるかによりますが、環境に配慮することが必要と思えます。

福原会長 ありがとうございます。留辺蘂自治区としては環境に配慮した整備を進める必要があるというご意見でしたが、時間も経ちましたので、これで終了にしたいのですが。

笠原委員 最後に1つ言わせていただきたいと思えます。お金のかからない方法で地域再生を図っていただきたい。いろいろな事業を展開するのですが、地元の住民が積極的に温泉街再生に向けたまちづくりに参加できるものがあればと思うのです。

若杉都市再生推 農村公園は総合学習に活用されていますし、地域の中でどうしていくのかを
進室主幹 検討することが必要になってきます。この提言書はハード面だけですが、ソフト面は地域でできることは何かということになってきますので、これからの話し合いになります。

福原会長 以上で、温根湯温泉街再生整備計画策定に向けての提言書については、これにて終了といたします。

報 告

【 (2)〔仮称〕まちづくり条例検討市民会議について 】

福原会長 次、「2. 報告」の(2)〔仮称〕まちづくり条例検討市民会議について報告をお願いします。

笠原委員 前回のまちづくり協議会で、まちづくり条例検討市民会議委員となりましたので、先日の6月18日に第1回目の集まりがありましたので報告いたします。最初に市長からの説明がありましたが、まちづくり条例は北見市の最高規範となるという内容でした。また、座長には北見工業大学の中山恵介さんが、副座長には旧北見タウンネットワーク懇話会の逢坂信治さんが務めることになりました。まちづくり条例の骨子については合併協議会の中でも話しがりましたが、それを引き継いだ形となっています。まちづくり条例はニセコ町が先駆けですが、その流れを汲むような形になるものと思います。また、逐一、この会議の内容については報告していきます。以上でございます。

質問・意見

福原会長 笠原委員より報告がありましたが、何か聞きたいことはありませんか。

南川副市長 タイムスケジュールはどのようになっているのですか。

笠原委員 タイムスケジュールにつきましては、6月18日に第1回を開催しましたが、最終は来年の6月に市長へ報告という予定でタイムリミットは設けておりません。また、まちづくり条例と自治区設置条例の関係ですが、合併の条件として自治区設置条例を先に設けたということです。自治区設置条例では副市長の権限があまり詳しく記載されておりませんが、まちづくり条例では副市長の権限について詳しく記載されることとなります。

福原会長 それでは、まちづくり条例検討市民会議の報告は終了とさせていただきます。

報 告

【 (1)瑞穂小中学校存続と校舎改築等の要望について 】

福原会長 次、「2. 報告」の(1)瑞穂小中学校存続と校舎改築等の要望について報告をお願いします。

小林教育事務所 皆さんお晩でございます。私からは、瑞穂小中学校存続と校舎改築等の要望に関わる市長・教育長と面談した経過についての報告をさせていただきます。6月18日に瑞穂地域からは瑞穂小中学校PTA会長、まきばの里山村留学推進協議会会長、瑞穂地区自治会連合会会長、開校百周年記念事業協賛会会長が赴

き、まちづくり協議会からは福原会長に同行いただき市長・教育長に対して要望書を提出いたしました。要望書については、小中併置での存続、山村留学への支援、校舎の改築についての要望ですが、私からは事前に市長には、地域の現状、山村留学の推移の経過、小中併置について説明し、要望書の提出となりました。提出の際には、瑞穂小中学校PTA会長、まきばの里山村留学推進協議会会長、瑞穂地区自治会連合会会長、開校百周年記念事業協賛会会長がそれぞれの思いを述べ、その要望書を受けて市長から2つのことについて意見を述べられました。1つは瑞穂小中学校の改築については、まちづくり協議会で具体的な検討をしていただきたい。ということと、もう1つは、地域の思いは十分理解しているが、子供が減っている状況の中で、果たして教育ができるのか北見市全体の中で考えたい。ということでした。市長個人としては瑞穂地域のよさは十分承知している。しかし、留辺蘂まちづくり協議会を中心として検討してほしい。ということでした。また、教育長は、山村留学は地域の宝だということを認識しているが、生徒数の確保ということも重要です。また、瑞穂地域の人間関係についても素晴らしいものと思っていますし、その環境の中で多様な教育活動を展開してほしい。という内容でした。このことを受けて、近々に瑞穂地域の課題とか、それをクリアするためには、どのような施設が良いのか検討をしていかなければなりません。以上でございます。

質問・意見

福原会長 ありがとうございます。私も同行いたしましたが、まちづくり協議会は瑞穂地域の活動を支援するという立場でいしましたが、市長が言ったことで気になったのは、瑞穂の学校を改築したら他の事業はできないということを行っているのかなと思いました。もう1点は大きな事業は出来ないし、子供がいない状況になることをもう一度考えなさいということを行っているんだなと思いました。総合的に考えますと、改築については、とても厳しいんだなという印象を持ちました。

福原会長 以上で報告は終わりますが、何かございませんか。

大野委員 私からは、瑞穂地域を代表してお礼をいってきなさいと言われておりますので、この場をお借りしましてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

福原会長 以上で、「2．報告」を終了いたします。

議 題

【 （ 1 ） 今後のまちづくり協議会の進め方について 】

福原会長 それでは、次第の「3．議題」として（1）今後のまちづくり協議会の進め方についてですが、前回までに出されました意見について、どのようにまとめ

て行けばよいのか、皆さんから意見をいただきたいと思います。前回からの話しの続きを考えますと、実施計画についての諮問が今年もされると思いますが、その諮問にある事業と留辺蘂らしい事業と両方が出てくるのだろうと思うのですが、今日の話し合いは、ここに出された要旨について、お互いにより深く理解をするための話し合いにしたいと思いますのでよろしくお願いします。

質問・意見

福原会長 最初に「今後の進め方について」ですが、記載されたとおりでよいかと思いますが、次の「留辺蘂らしい事業」として、１）瑞穂小中学校の存続と校舎改修については、地域が要望書を提出したということですので、まちづくり協議会でも取り上げていかないとなりません。次に「花のエリア・交流センターの利用について」ですが、実施計画で扱う内容ではありませんので、次の「留辺蘂の歴史資料について」ですが、１）歴史資料館ということですが、北見市として歴史資料館を統合することはないのでしょうか。

小林教育事務所長 統合するのかということですが、各自治区に歴史的建物はありますが、この前、学芸員に滝の湯の倉庫を見ていただいたのですが、宝の山ということですし、滝の湯の駅通自体が歴史的建造物ということで、道の駅に移築できないかという話がありましたが、その場所にあるから歴史的な意味があるということでしたので、統合するというのではなく、どのように保存していくべきかを考える必要があると思います。

福原会長 留辺蘂小学校にも昔の資料があるということですので、有効に活用することを考えていく必要がありますね。

笠原委員 このような歴史資料は社会教育的な発想での保管とか管理になりがちですが、最近では、歴史建造物を散策するとかドライブコースにするとか観光ルートにすることが考えられますし、箱根駅伝のようなものを、石北峠からサロマ湖までを駅伝競走を開催することで駅通を中継所として使用することもできます。このような活用がいっぱいあるわけで、別の用途に活用することも検討が必要でないでしょうか。

山田委員 北見でいくと屯田兵、常呂はモヨロ貝塚、そういうものをうまく利用していけばいいのですが、案内看板がないと何処にあるのかわからない。

本條委員 前にいた管理人がいなくなったことが大きいです。今の管理人は不在になることもあるそうですので、駅通の問い合わせがあったときには対応できないということは聞いたことがあります。

笠原委員 ボランティアがガイドするとか、ラリーポイントにするとか出来ないのでしょうか。

小林教育事務所長 観光コンベンション課で観光プロジェクトとして大きな予算がついて、4つの自治体をネットワークした体験型観光などができないかやっているところです。

福原会長 今回のことから、歴史的なものについても、北見市全体で地域の資源を活用する方法を考えていく必要があるのではないかとということです。

福原会長 次に、3)留辺蘂町史の編さんということですが、北見現代史は旧北見市のみの市史ですので、留辺蘂の歴史を残すためにも、留辺蘂町史を作るというのはいいいですね。

事務局
(伊藤課長) 留辺蘂町史ということですが、留辺蘂町史は昭和60年3月に発行してしまし、端野、常呂は留辺蘂より少し新しいと思うのですが、町史は発行されています。また、今回、北見現代史ということで市史が発行されましたが、合併後の新たな市史をどのように作っていくべきかを検討するため、市史編さん室より編さん委員を出してほしいということで、依頼がありましたので、編さん委員を選出しています。

福原会長 編さん委員というのは、市史を編集する委員ということですか。

事務局
(伊藤課長) 今回の編さん委員は市史を編集するのではなく、市史の作り方を検討する委員です。

福原会長 次に「文化スポーツ振興」ということで、2)街に元気がなくなったので、もっとスポーツの振興をとということですが、来年に留辺蘂自治区で全国選抜ゲートボール大会が開催されることになりましたので、そのところを説明お願いします。

山田委員 来年の6月7・8日が大会日程ですが、役員・選手団の約1,600人が留辺蘂にやってきます。平成4年に留辺蘂町で開催していますが、そのときは、自治体を中心となって開催するのが全国的に珍しいことでした。最近では、自治体も財政的に苦しく、ボランティアに頼った運営になってきています。来年の大会についてもボランティアにお願いしようと考えております。また、観光コンベンション課にもお話ししているのですが、北見、端野、常呂、留辺蘂の4つの地元の産物を1つにしたお土産が出来ないかお願いしているところです。1,600人も来るのですから、お土産の購入も高齢者の方は沢山買っていくか来ますので相当なものになると思いますし、経済効果も非常に大きいものになると

思うのです。また、留辺蘂教育事務所が事務局となり、実行委員会を立ち上げましたので委員の皆さんもボランティアで協力いただきたいと思いますし、体育協会にもボランティアをお願いしていますし、商店街にはアーケードをお願いしています。

福原会長

弓道のねんりんピックについてですが、正式名称は、全国福祉祭といいます。それが、再来年留辺蘂で開催されます。当初は北海道で受けた大会ですので、札幌近郊で開催する予定でしたが、札幌近郊の弓道協会で受け入れるところが無かったので留辺蘂で開催することになりました。ご存知のとおり留辺蘂弓道館が完成した当初は全道一の施設でしたが、最近は、老朽化が進んであちらこちらに傷みが出てきましたが、直せばまだまだ立派な施設です。

山田委員

札幌市のような大きな市でこのような大会を受けても、開催している地元だけが歓迎ムードですが、それ以外では「何をやってるんだ。」という目線です。ですので、来年は北見市全体としてそのようなことのないよう、歓迎する必要があります。

福原会長

次に、「産業の振興」ということですが、8)産業まつりについて、山田委員より産業まつりの構想を説明してください。

山田委員

南川副市長が商工観光課長時代に産業まつりを開催できないかということをお願いしていた経過がありますが、留辺蘂の場合、各産業1つ1つは良い物をもっていますが、それぞれのことは知らなさすぎますので、お互いを理解するためにも産業まつりが必要です。

福原会長

お互いを理解するためにも産業まつりということですが、農業について、本條委員から何かありませんか。

本條委員

一昨年からJAきたみらいが中心となって農業祭を開催しています。年々来場者が増えていますし、結構にぎやかになっています。

福原会長

林業について、中村委員から何かありませんか。

中村委員

1つお願いがあるのですが、林業といえば造林・造材業をいいますので、林産業ということをお願いします。先日、公共施設に対して木材の利用拡大について、市長へお願いをしてきましたが、近年、木材加工技術は向上していますし、留辺蘂は木材加工技術の集積地でもありますので、積極的にPRをしていただきたいと思います。

笠原委員 中村さんは経木を作っていますので、その経木を使った何かを地域として作っていかないと駄目だと思うのです。

山田委員 そこで地産地消という考えで、いろんな産業の組み合わせができると思うのです。

菅波委員 商工会議所でも産業まつりについては、毎年議題に上がっていますので、まつりという形にこだわらないで、何か出来ればいいと思います。

福原会長 次に「公共施設の有効活用」ということですが、1) 図書館の案内看板と、2) 公共施設の案内看板が少ないので管内看板を作成し、施設の有効利用を図るということですので、有効活用のための看板を設置していくということにしたいと思います。

福原会長 次に、「その他」としてですが、道の駅については、私事ですが、どこに行っても道の駅に寄ったときは必ず買い物をしたくなるのですが、温根湯の道の駅は、建物の配置が逆です。トイレの利用は多いですが、近くに物産館がないので、とてももったいない施設です。

坂下委員 八方台スキー場ですが、林間コースは傾斜も緩いので、学校の授業でも、ボランティア指導者が常駐し利用を推進できればいいなと思います。

福原会長 他に何かありませんか。
無いようですので、これにて終了とさせていただきます。

そ の 他 【 温暖化防止一村一品応援プロジェクト「食」編について 】

福原会長 次に、その他として、松山委員より地球温暖化防止についてPRをしたいことがありますので、お願いします。

松山委員 私からは、今年の4月より北海道の地球温暖化防止活動推進員として任命されましたので、地球温暖化防止についてPRをさせていただきたいと思いません。

・・・松山委員より説明・・・

【 北海道を元気に！ 温暖化防止一村一品応援プロジェクト「食」編 】
「食」に関わる取り組みで、温暖化防止に貢献し、地球を元気にする各地の取り組みや産品を募集します。生産、流通、加工、飲食、小売、消費、再生など、食にまつわるありとあらゆる分野を対象としています。皆様の取り組みや産品についてお知らせください。

応募条件（問い合わせ先：北海道地球温暖化防止活動推進センター）

北海道内で行われている取り組みであること。

エネルギー起源の二酸化炭素の削減に直接または間接的に貢献する取り組みであること。

現在実施されている、または、今後、確実に実施が見込まれる取り組みであること。

政治活動や宗教活動を主たる目的としていないこと。

福原会長 皆さんの身近にあることで、地球温暖化防止に役立っているものがあれば、
どんどん申し込んでくださいということでした。

福原会長 他に皆さんから何かありませんか。

それでは、本日の議題および報告案件すべてを終了しました。
次回の協議会について事務局よりお願いします。

事務局 (地域振興係長) 次回の、第4回まちづくり協議会ですが、7月中旬に開催したいと考えてお
ります。日程につきましては、決まり次第連絡いたします。以上でございます。

福原会長 以上をもちまして、第3回留辺蘂まちづくり協議会を終了いたします。
次回、第4回協議会は、7月中旬に予定しておりますのでよろしくお願
いしたいと思います。
委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご苦労さまでした。

以上のとおり、まちづくり協議会(第3回)を終了した。(20:25終了)

【次回開催日程】

平成19年度 第4回留辺蘂まちづくり協議会

日時：平成19年7月中旬予定 18:00～

場所：留辺蘂町中央公民館 1階 小ホール室